

解説

JKMST10 周年：これまでの成果と今後の展望

†張 炳國*

JKMST's 10th Anniversary: Achievements and Future Prospects

by

†Byung-Koog JANG*

(Received Nov. 13, 2025)

要 約

JKMST (Japan-Korea International Symposium on Materials Science and Technology) / KJMST (Korea-Japan International Symposium on Materials Science and Technology) シンポジウムは、日本材料科学会と韓国材料学会の共同主催で日韓両国の材料科学・工学分野の研究者が一緒に集まり、基調講演や招待講演を通じて、先端材料分野の研究成果を紹介し、国際研究交流を行っている。第1回のKJMSTは、2014年に開催された以来、毎年継続して実施されて、今年で10周年という記念すべき節目を迎えた。

キーワード: JKMST, KJMST, 先端材料, シンポジウム, 国際交流

1. はじめに

日本主催のJKMST/韓国主催のKJMSTシンポジウムの企画の背景は、以外のところから始まった¹⁾。2013年の夏、日本材料科学会の編集委員会終了後、本学会事務局の近くにある東京・市ヶ谷駅周辺の居酒屋で懇親会が開催された。

その場では、本学会の発展や活性化のため、忌憚のない意見交換が行われた。その中で、新たな試みとして、編集委員会を韓国で開催し、韓国の研究機関との研究交流および親睦を深める行事を開いてはどうか、という提案があった。その世話人として筆者が指名され、半信半疑ながら引き受けたことが、今となっては懐かしく思い出される。

また、2013年の秋、アメリカで開催された国際会議において、旧知の韓国航空大学のDo-kyun Kwon先生と再会し、日韓研究交流行事について協議した。その結果、韓国側は

Kwon先生、日本側は筆者が代表を務めることとなり、約半年間の準備期間を経て、第1回のKJMSTは2014年11月に韓国・ソウル市の延世大学で開催された。同時に、国際シンポジウム委員会(現・国際交流委員会)を立ち上げ、両国からの基調講演を含め、最新の材料分野における発表者全員を招待講演として招く形式とした。

JKMST/KJMST開催の目的は、先端材料分野における日韓両国間の研究交流を促進することに加え、両国の研究者間の親睦を深めることで、学会の一層の活性化や国際研究交流への貢献を図ることである。

本解説は、JKMSTの10周年を記念して、これまでのJKMST/KJMSTの歩みを振り返るとともに、今後10年後、20年後の将来に向けてJKMST/KJMSTの更なる発展を願い、その記録を残すことを目的として執筆するものである。

2. 胎動期(第1回~第2回JKMST)

第1回日韓国際材料シンポジウム(KJMST)は、2014年11月12日から14日にかけて、韓国・ソウル市の延世大学で開催された。第1回の開催では、初めての行事であることから学生の参加はなく、一般口頭発表のみを行い、すべ

令和7年11月13日受付

* 九州大学 大学院総合理工学府: 福岡県春日市春日公園 6-1

jang.byungkoog@kyudai.jp

Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences,
Kyushu University, 6-1 Kasuga-koen, Kasuga-shi, Fukuoka,
816-8580, Japan

†:連絡先/Corresponding author